

# YOSANO

広報よさの No.121



●今月の表紙

第38回京都市民総体市町村対抗駅伝競走大会（2月14日撮影）

●主な記事

02 与謝野町 10年のあゆみ

14 アベリスツイス大学生受け入れ交流事業

2016

3

### 与謝野町開町式



平成18年3月1日、加悦町、岩滝町、野田川町の旧3町が合併し、与謝野町が誕生しました。

### 町の花、町の木がそれぞれ決定



上/町の花 「ひまわり」  
下/町の木 「椿」



### 与謝野町町民憲章の制定

#### ●与謝野町町民憲章

わたしたち与謝野町民は、豊かな自然と歴史に育まれた郷土を誇りに思いお互いが思いやり元氣あふれる住みよい町を築くためこの憲章を定めます

- 一 自然を守り環境美化に心がけましょう
- 一 伝統と文化を大切に学びの心を育てましょう
- 一 きまりを守り自律心を養いましょう
- 一 あたたかい家庭と地域の絆を大切にしましょう
- 一 健康で仕事に励み豊かな未来をつくりましょう

(平成二十年一月制定)

### 第3回全国女性町長サミット開催



平成25年8月、与謝野町で全国女性町長サミットが開催されました。「協働のまちづくり」をあらゆる分野で男女で進めていくことが必要不可欠であり、今後のまちの発展を左右するキーワードと考える」とサミットアピール宣言を5人の女性町長は力強く宣言しました。

### 与謝野町2代目町長として山添藤真氏就任



平成26年4月16日、2代目与謝野町長に山添藤真氏が全国最年少町長として就任。(就任当時)産業振興、教育施策を軸とした「みんなの知恵と技術で新しい価値を生むまちづくり」を推進しています。

### 与謝野クリエイティブディレクターに田子學氏が就任



デザインの力でまちづくりに変革を。平成27年5月14日、田子學氏(MTD Oie)がクリエイティブディレクターに就任し、「与謝野ブランド戦略事業」がスタートしました。



### 10年の主な出来事

#### 平成18年

- 加悦町・岩滝町・野田川町の旧3町が合併し、与謝野町が誕生
- 初代町長に太田貴美氏が就任
- 与謝野町議会初代議長に糸井満雄氏が就任
- 与謝野町消防団結団式(初代団長は小池潤一郎氏)
- 初代助役に堀口卓也氏が就任
- 初代教育長に垣中均氏が就任

#### 平成19年

- 「与謝野町歌」披露
- 与謝野町優良産品初認定(34業者・66品目)
- 与謝野町観光協会発足
- 第1次与謝野町総合計画策定

#### 平成20年

- 与謝野町町民憲章制定
- 町有線テレビでデジタル放送開始
- 与謝野町商工会発足
- KTR野田川駅に旧国鉄「丹後山田駅」資料室完成

#### 平成21年

- 加悦フェローラインバス路線が廃止となり、コミュニティバスひまわり(町営バス)運行開始
- 京都地方税機構設立

#### 平成22年

- 平成21年産米の全国食味ランキングで丹後産コシヒカリが西日本で唯一3年連続特Aを獲得
- 岩滝・野田川地域で有線テレビ運用開始
- 太田町政2期目が始動
- 京都府・兵庫県・鳥取県によるドクターヘリ共同運行開始
- 国民文化祭ブレ事業「与謝蕪村シンポジウム」を開催

#### 平成23年

- 鳥取豊岡宮津自動車道宮津与謝道路が開通し、与謝天橋立IC供用開始
- 与謝野町優良産品認定業者会発足
- リフレかやの里リニューアルオープン

#### 平成24年

- 与謝野町中小企業振興基本条例制定
- 与謝野町議会基本条例制定
- 高齢者運転免許証自主返納支援事業スタート
- 木崎良子選手がロンドンオリンピックに女子マラソン日本代表として初出場
- KTRで高齢者片道200円レール事業が開始
- 第1回与謝蕪村顕彰与謝野町俳句大会開催
- 木崎良子選手を名誉町民として表彰

#### 平成25年

- 地域共生型福祉施設「やすらの里」竣工
- 国民健康保険診療所リハビリ棟完成
- 宮津与謝環境組合設立
- KTR新型観光車両あかまつ・あおまつ運行開始
- 第1回まちぐるメシOSANO開催
- 第3回全国女性町長サミット2013よさの開催
- 阿蘇シーサイドパーク グラウンド・ゴルフ場オープン
- 丹後2市2町で上限200円バスが運行開始



まめっこまいちゃん

#### 平成26年

- 町税等のコンビニ納付サービスを開始
- 全国最年少町長として2代目与謝野町長に山添藤真氏が就任
- 海フェスタ京都開催
- 与謝野町公式Facebook開始

#### 平成27年

- 英国アベリクスイス国立大学と包括連携協定を締結
- 京都丹後鉄道が開業し駅名が野田川駅から与謝野駅へ変更
- 与謝野町地域おこし協力隊第1号就任
- 与謝野クリエイティブディレクターに田子學氏が就任
- リベラルアーツ推進事業のスタート
- 京都縦貫自動車道の全線開通
- 国内南限地としてホップの試験栽培を開始
- 与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略を策定

#### 平成28年

- 与謝野町役場の機構改革を実施し野田川庁舎本館を閉鎖
- 与謝野町合併10周年を迎える
- 与謝野町で初の認定こども園(かえてこども園)発足(4月)

### 特集

# 与謝野町 10年のあゆみ

与謝野町は合併10周年を迎え、さまざまな出来事がありました。10周年を迎え、その動きを振り返り、ご紹介いたします。

### 与謝野町消防団結団式



平成18年5月、初代与謝野町消防団長の小池潤一郎氏は「安心安全のまちづくりの役目、火事を出さない・出さないをスローガンに火災のないまち与謝野を目指す」と力強く宣言を行い、消防団員は心を一つにしました。

### コミュニティバスひまわり(町営バス)の運行開始



町内の交通不便地区の解消を目的に、平成21年3月16日から、町営バス「コミュニティバスひまわり」の運行を開始しました。運転業務などは丹後海陸交通株式会社が担っています。

### 地域共生型福祉施設「やすらの里」運営スタート



平成25年3月1日に「やすらの里」の運営が始まりました。特別養護老人ホーム「やすら苑」、在宅複合型施設「やすらの旋風」、障害者就労支援施設「ワークセンター」「花音」、訪問看護ステーション「サテライトのみり」の4つの施設が展開されています。

### 与謝野町中小企業振興基本条例の制定

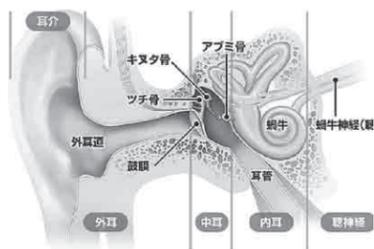


与謝野町中小企業振興基本条例は、住民や経営者らによる産業振興会議を中心に検討されたもので、住民参画による「与謝野町流の取り組み方」は、府内外から大きな注目を集めています。

### ホップの試験栽培を開始



「与謝野クラフトビール醸造事業の一環として取り組まれた事業。11月に行なわれた「阿蘇ベイエリアトライアル/3DAYS」では収穫したホップを使用したクラフトビールが披露目されました。



耳には大きく分けて2つの役割があります。耳には大きく分けて2つの役割があります。耳には大きく分けて2つの役割があります。

▼聴覚機能・外側から「外耳」「中耳」「内耳」の3つで構成されており、外耳と中耳は鼓膜によって隔てられています。音は、左右の外耳を経て鼓膜を振動させ、中耳から内耳の蝸牛に伝えられ、電気信号に変換された後に神経を通じて脳へと伝えられます。従って、この中のどこかに異常が生じると、耳鳴りや難聴の原因となります。

▼平衡感覚・内耳の前庭にある感覚器で感受しています。そのため、内耳の異常は、めまいやふらつきの原因となります。また、蝸牛と前庭は非常に近い場所にあります。互いに影響を与えやすいので、聞こえの不良に伴いめまいなどの症状も一緒に出現しやすいです。

耳の働き

耳は、私たちが生活していく上で、外部から音の情報を得るための大切な器官です。ところが、耳の健康維持については、聞こえが悪くなったり症状が出るまで、あまり気にしない人が多いのではないのでしょうか？

耳は、私たちが生活していく上で、外部から音の情報を得るための大切な器官です。ところが、耳の健康維持については、聞こえが悪くなったり症状が出るまで、あまり気にしない人が多いのではないのでしょうか？

老化と聞こえ

耳は加齢に伴う変化を感じやすい器官のひとつであり、一般的には40歳代から徐々に聞こえの変化が現れはじめ、60歳代になると急速に進むといわれています。また、高い音から聞こえにくくなり、音は聞こえていても、ことばの聞き取りが悪いのが特徴で、聞き間違いが多くなつてきます。耳の老化は、誰もが気づかずに経験することですが、普段から大きい音を聞いているとそのぶんはやく老化するといわれているので注意が必要です。

耳掃除 正しくできていますか？

耳垢は、皮脂にほこりや古い皮膚がくっついたもので、一番耳垢がたまりやすいのは、耳の入り口から1cmくらいのところです。なので、耳掃除をするときは奥まで入れる必要はありません。耳垢には、薄くて弱い耳の皮膚を保護したり、異物の侵入を防ぐ役割もあるのです。掃除しすぎないことも大切です。そのため、多くても1〜2週間に1度くらいのペースで十分です。耳掃除のしすぎは、外耳炎を引き起こすなど、耳にとって悪影響となるので注意しましょう。また、カサカサした耳

垢には耳かき棒が、ベトベトしたものには綿棒が適しており、自身の耳垢のタイプに応じて使用してください。

こんなときは  
耳鼻咽喉科の受診を

- 耳が塞がっている感じがする
- 音が響いて聞こえる
- 耳が痛い
- めまいがする
- 耳鳴りがする

特に耳鳴りや難聴は、耳のみの問題だけでなく全身的な疾患の症状として現れることもあります。また、こころやからだの健康状態にも影響を受けやすいため、ストレスや疲れがたまっていたり、寝不足が続いている状態では症状が悪化しやすくなります。

聞こえを悪くする習慣に注意！

- 耳の病気がなくても、大きな音を長時間聞き続けることや、疲労、過度のストレスは、聴力に影響を及ぼします。
  - 大きな音がする場所、ヘッドホンの大音量は避け、耳を休める時間をつくる
  - 疲労やストレスを溜めない
  - 良質な睡眠(休息)をとる
  - 適度な運動、バランスのよい食生活を心がける
  - 年に1度は聴力検査を受ける
- 以上の点に注意して、耳をいたわる生活を送りましょう。

がんばってます！消防団

編集 ● 加悦方面隊



加悦第2分団では、与謝小学校の児童と与謝保育園の園児を対象として、防災に関心を持ってもらうことを目的に「消防団との防災訓練」を行いました。

消防団との防災訓練は今年で4回目となり、過去3年間では煙体験などをしてもらいましたが、今年は、宮津与謝消防署の協力も得て、『起震車』で地震の揺れの体験してもらいました。

今田分団長からは、児童に対して『今回は、訓練で予想できますが、地震はいつやってくるかわかりません。その時は、今回の起震車訓練で経験

小学生を対象とした防災訓練の実施  
～大地震を想定して～

した内容で身を守ってもらうとともに先生や親の言う《おはしも》を守ってくださることをお願いしました。

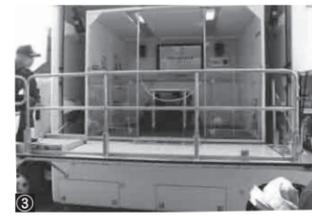
《※おさない はしならぬい しやべらない もどらない》

また、体験した与謝小学校の児童から『揺れ方がきついに對する驚きがあったこと』や『頭を守るために屋内にいるときは、机の下にもぐることや屋外にいるときはランドセルや本で頭を守ることを知った』などのお礼を兼ねた感想文をいただくことになり、地震の時にどのように命を守っていくかを伝えることができた1日となりました。

日本は地震大国であるとともに近年の地球温暖化による予期せぬ自然災害が発生すると言われていますので、与謝町消防団では引き続き地震や災害などの予防活動を図っていききたいと思っています。



消防団との防災訓練を実施しました。



- ① 起震車体験を見守る園児
- ② 消防団からの話を聞く小学生
- ③ 実際に起震車に乗り揺れを体験する
- ④ 今回の訓練から学んだことをまとめた

平成 27 年度全国統一防火標語「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

いっしょに地域の安全を守りましょう！ 求む！消防団員

近年、消防団員が減少し、平均年齢の上昇が進む中、若い力の消防団活動への参加が強く期待されています。詳しくは、地域の消防団または役場防災安全課 (TEL43-9011) へ。

「ひまわりふれ愛隊」の隊員も募集しています！月1回の定例会で活動内容を決め、音声告知放送、防火教室、救命講習、火事等の予防啓発をしています。



江山文庫読書会 広告

与謝野晶子の童話を読む  
第47回「与謝の海霞の織混ぜ」

■日時 3月25日(金)  
※毎月第4金曜日  
午後1時30分～3時

■問い合わせ先  
江山文庫 ☎ 43-2180

「知遊館講座作品展」のお知らせ

日時・場所 3月3日(木)～27日(日)  
午前9時～午後5時  
月曜日休館・入場無料 知遊館展示室

内容 平成27年度知遊館講座「絵手紙」「書道」の受講生の作品展

問い合わせ先 知遊館 ☎ 46-2451

広告

**皆**さん、こんにちは！ジェームスです。今月は日本とイギリスの大きな行事であるクリスマスとお正月について、両国での祝い方の違いを皆さんに紹介したいと思います。

学校が冬休みの間、私のガールフレンドであるジェニーがイギリスから日本に遊びに来たので、クリスマスとお正月はずっと彼女と一緒にいました。私は彼女と一緒に日本の色々な場所に行きました。まず、与謝野町、京都市、神戸市を観光し、それから淡路島を通って四国に渡り、徳島県の祖谷溪谷や高知市を観光しました。四国には初めて行きましたが、とても美しいところでした。

日本はイギリスと比べると、クリスマスとお正月の祝い方が大きく違います。イギリスでは、クリスマスは1年の中で最も大事な日です。イエス・キリストの誕生を祝うお祭りですが、家族を大切にすることもあります。この日は家族全員が集まり、焼いた七面鳥などの伝統的なクリスマス料理を食べます。私は今年のクリスマスは与謝野町でお祝いしました。七面鳥は手に入りませんでしたが、日本流に大きなチキンを食べました。とても美味しかったです！

一方、日本ではお正月が最も大事な日です。日本のお正月は、家族で集まり日中に神社に参拝するなどして新年を祝いますが、イギリスでは日中ではなく夜中に新年を祝い



元日に淡路市の伊弉諾神社に行きました

ます。大晦日にパブ（酒場）にたくさんの人が集まり、日付が変わる瞬間はパブの人たちと秒読みをします。また、多くの街では打ち上げ花火があがります。しかし、元日の日中は特にイベントもなく普段どおりにすごします。今年の日中、私たちは淡路市の伊弉諾神社にお参りしましたが、そこでは多くの参拝客で混みあっており、イギリスとは逆であることが興味深いと思いました。

また、イギリスの元日は伝統的な習わしとして「新年の抱負を決める」ということがあります。抱負の内容としては、何か新しいことに挑戦することや、現在続けていることでも違う方法やより良い方法でやってみようということを決意します。今年の私の新年の抱負は日本語をもっと学ぶことです。簡単な日本語のニュース記事を読めるように頑張りたいです。皆さんもぜひ新年の抱負を決めて、新しいことにチャレンジしてみてください。

私の前回の記事では、私が「ラリー」と名付けたナマケモノのぬいぐるみについて話しました。私は彼との旅行を記録しており（冒険の記録はこのウェブサイト（www.instagram.com/larrythesloth）で見ることができます）、今回の記事では、皆さんに彼との冒険とともに私のマラソン練習の成果についても報告できるように頑張りたいと思います。町内で走っている私を見たときは、ぜひ「Hello!」と声をかけてくださいね。

## 公民館訪問 [第36回 後野地区公民館]

最近では、エコ講座から始まった川の学校の開校、子どもたちに川の大切さを教えると共に、川遊びの楽しさ、川の恐ろしさも教えながら実践させ、魚についての勉強会も行っています。また野田川に鮭が遡



川の大切さを学ぶ川の学校

**後**野地区公民館活動が目にはいります。当初は、手探り状態でスタートしたもの、今となっては懐かしく思えます。無我夢中の7年間であったのが、少しずつではありますが活動の形ができてきました。これも区民の皆様また区役員の皆様の協力があったからこそだと感謝しております。公民館活動スタートと同時に後野区夏祭りも実施することになり、運営委員さんはじめ有志の方々、区の役員さん方の真剣な取り組み模様が懐かしく思い浮かびます。区民の手造り、子どもから高齢者の方々まで楽しんでもらえる夏祭りをスローガンに取り組んできた夏祭りも軌道にのってきようと思います。

上し産卵している事実が確認され、その場所が後野区川であることから公民館活動の一環として鮭に携わる歴史を学ぶべき社会見学を実施するなど、鮭の保護のために区民の皆様意識アップにも努めています。

また後野地区公民館の活用として老人会の皆様による囲碁ボールの練習、ふれあいサロンの皆様による1回の利用、その他各サークルによる利用と、効果的に利用されてきています。

今後の公民館活動は、実施項目を増やすのではなく内容の充実に取り組みむ方向で進んでいきたいと思っています。区民の皆様が気軽に立ち寄れる後野地区公民館にするべく努力を重ねていく所存です。

## 図書館へ行こう！

### 花にまつわる本

春の訪れを感じる時期になりました。季節の移り変わりを告げる自然の姿に心癒される方も多いのではないのでしょうか？今月は、「花」に関する本をご紹介します。



#### 『日々のいどり花手帖』

平野恵理子/サンマーク出版

「買う」「育てる」「プレゼント」など、花の楽しみ方は無尽蔵。美しく緻密なタッチで描かれる花のイラストとともに、日々の暮らしに彩りを添えてくれる花のある暮らしを柔らかな言葉で綴ったエッセイ集です。



#### 『椿しらべ』

安達瞳子/講談社

椿に育てられたと語る華道家が、学名「カメリア・ジャポニカ」と命名され、日本はもちろん世界中で愛されている椿の特性や芸術・文化を綴った1冊。著者の作品写真や世界で描かれた絵画なども収録しています。

**今月の新着図書**

一般書 ●『エクセル&ワード&パワポ完全ガイド』国本温子/学研プラス ●『この1冊でまるごとわかる！人工知能ビジネス』日経BP社 ●『文藝春秋オピニオン 2016年の論点100』文藝春秋 ●『商都大阪をつくった男五代友厚』宮本又郎/NHK出版 ●『桜宮高校バスケット部体罰事件の真実』島沢優子/朝日新聞出版 ●『ほっとだけで味が決まる漬けたら、すぐおいしい!』堤人美/講談社 ●『娘になった妻、のぶ代へ』砂川啓介/双葉社 ●『会うたびに「感じのいい人」と言わせる大人の言葉づかい』齋藤孝/大和書房 ●『ムーンナイト・ダイバー』天童荒太/文藝春秋 ●『異類婚姻譚』本谷有希子/講談社 ●『真実の10メートル手前』米澤穂信/東京創元社 ●『一〇三歳、ひとりで生きる作法』篠田桃紅/幻冬舎 ●『他者という病』中村うさぎ/新潮社 ●『紙の動物園』ケン・リュウ/早川書房

児童書 ●『文房具のやすみじかん』土橋正/福音館書店 ●『スヌーピーをさがせ! 全3巻』学研教育出版 ●『せかいのはてのむこうがわ』たなかやすひろ/BL出版 ●『地球のみえないところをのぞいてみたら』てづかあけみ/PHP研究所 ●『だれのものでもない岩鼻の灯台』山下明生/絵本塾出版 ●『光を失って心が見えた』新井淑則/金の星社 ●『イッキによめる! 天才武将真田幸村 33の謎』楠木誠一郎/講談社 ●『名探偵コナン KODOMO時事ワード2016』読売KODOMO新聞編集室/小学館 ●『地中世界のサバイバル』朝日新聞出版 ●『だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ』安房直子/偕成社 ●『おばけのアッチ パン・パン・パンケーキ』角野栄子/ポプラ社

**図書館おはなし会**

|         |                    |
|---------|--------------------|
| <野田川分室> | ●紙芝居の日             |
|         | 3月19日(土) 午前10時30分~ |
|         | ●マザーグースによる春のおはなし会  |
|         | 3月26日(土) 午後2時~     |
| <本館>    | 4月2日(土) 午後3時~      |
| <加悦分室>  | 4月9日(土) 午前10時30分~  |

**Info 絵本作家による講演会のお知らせ**

絵本作家のよしながこうたく氏による講演会。個性的なイラストと奇想天外だけであたたかなストーリーが大人気！作家みずから読み聞かせはもちろん、目の前で描かれる大迫力のイラストレーションは必見です。年齢に関係なく、一緒に絵本の世界を楽しんでください！

日時 3月20日(日) 午後1時30分~3時  
場所 知遊館研修室1~3  
講師 よしながこうたく氏(1979年生まれ。福岡在住。18歳から作家活動をはじめ、イラストレーターとして国内外のさまざまな媒体の仕事を手がける)

備考 会場準備のため、事前に図書館(室)まで申し込みください。電話・FAXでも受け付けます。

**講師の絵本紹介**

楽しい絵本がたくさんありますのでその一部をご紹介します。

**『給食番長』**  
好学校

好き嫌いばかりして、きちんと給食を食べない1年2組。ついに給食を作ってくれる先生たちが家出してしまう。そこで、自分たちで給食を作ろう！と張り切る給食番長たち。いったいどんな給食になるのでしょうか？

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087  
●開館時間/午前10時~午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)



まちの話題 お届けします



大江山に感謝！  
「エコキッズよさの」の取り組み

社会教育課 ☎ 43-9026



親水公園での生き物調査

した木は、年輪を数え、細かい部分でコースターを作りしました。こ

与謝野町の環境を知り、私たちの暮らしを見つめる取り組み「エコキッズ与謝野」。本年度も、よさの百年の暮らし委員会の方々の協力を得て、町内の小学4・5年生16名が、6月から12月までの間に、計6回の活動を行いました。最初の3回は池ヶ成公園と野田川の上流・下流で活動し、山の木は雨が降ってもゆつくと川に水を流してくれるので洪水を防ぎ、また、腐葉土が川や海を豊かにしてくれて水質や生き物を守ってくれることを学びました。4回目は、スギやヒノキの植林がしてある場所での森の健康診断を行いました。木が多すぎると山崩れの原因になることを学んだあと、土壌や下草の様子を調べ、100㎡の木の数と直径・高さを調査し、適正な木の数を把握したのちに間伐を行いました。間伐は、くさび型の切れ目を倒す方向にいったあと、反対側を切つてからロープで引いて木を倒



実際に間伐も行いました

のように間伐をしてやらないと日が差し込まないので小さな木や草が育たないことも学びました。5回目は簡単にできるカレーパンを作つてエコクッキングを学び、6回目は藤づるを使つてクリスマスリース作りをしました。藤づるは大きくなると巻きついたり木を傷め、光を遮つて枯らしてしまうので、リースには3回目の活動のとき拾つてきた松ぼっくりも使いました。活動の様子は、2月7日に開催された「丹後環境シンポジウム」で発表しました。



学習の成果を発表

この事業は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました。



シリーズ⑨ ごみについて考える

住民環境課 ☎ 43-9030

これらは資源になら

雑がみに  
ならない紙類

日に出してください。

燃ごみの袋に入れていた『雑がみ』も下の図のように分別すればリサイクルが可能になりました。雑がみは、十字に縛つて資源ごみの日に出してください。

もう1つ、従来は可燃ごみの袋に入れていた『雑がみ』も下の図のように分別すればリサイクルが可能になりました。雑がみは、十字に縛つて資源ごみの日に出してください。

『広報よさの1月号』で、可燃ごみの中の紙類を取り出して、可燃ごみの減量化を図ることをお知らせしました。が、今月はその雑がみ類について詳細にお知らせします。

まず、黄色の可燃ごみ袋に入れる前に、紙マークがついた紙は、紫色のごみ袋へ、新聞紙・チラシは、十字に縛つて、どちらも今までどおり資源ごみの日に出すようリサイクルにご協力ください。

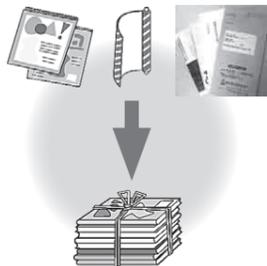
少ないため、燃えるゴミとして捨てましょう！

紙おむつ  
感熱紙（レシートやFAX用紙）  
カーボン紙

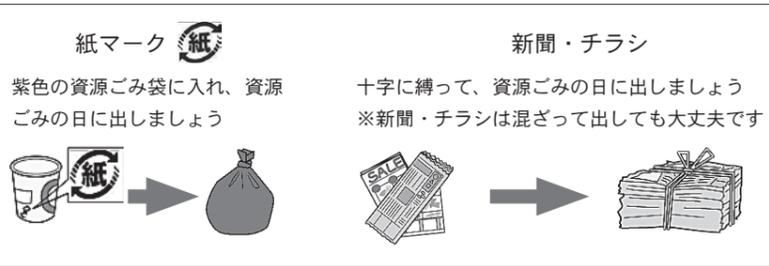
雑がみに  
なる紙類

● 雑誌、カタログ  
● 役場や学校などからのコピー用紙  
● 封筒やはがき  
● 広告チラシ類（新聞チラシ以外）  
● 包装紙  
● カレンダー、ポスターなど  
その他右記「雑がみ」にならない紙類以外

紙マーク  
新聞・チラシ



「雑がみ」になる紙類



●第38回府民総体市町村対抗駅伝競争  
一人ひとりが一生懸命にたすきをつなぐ

「第38回府民総体市町村対抗駅伝競争」が2月14日、福知山市三段池公園総合体育館前を発着点（36.309km、8区間）に開催され、府内市町村から、「市町村対抗の部」に22チーム、「市町村チャレンジ



与謝野町「市町村対抗の部」アンカーの田中さん

の部」に11チームが出場しました。

入賞をめざし、12月から週2回の練習を重ねてきた与謝野町チーム。この日はレース途中から雨の降る厳しいコンディションとなりましたが、皆さん粘りながら、順調にたすきをつなぎ、一時

は4位に立つなど好レースを展開しました。さらに、「市町走対抗の部」4区を走った亀井祐貴選手は、区間賞となる素晴らしい走りを見せました。

「市町村対抗の部」のタイムは2時間1分42秒で、見事7位入賞を果たす結果となりました。

また、オープン参加である「チャレンジの部」でも7位という結果を収めました。



出場者、関係者の皆さんで集合写真

出場選手（敬称略）

- 1区 平井 琴加（四辻）・佐々木和代（明石）
- 2区 山崎 夢乃（四辻）・沖村 美夏（三河内）
- 3区 松尾 哲裕（石川）・安見 一徳（上山田）
- 4区 亀井 祐貴（三河内）・井上 新大（男山）
- 5区 大江 隆史（弓木）・吉田 雅広（幾地）
- 6区 谷口 晴信（加悦）・田中 良樹（加悦）
- 7区 岸田 笑佳（幾地）・小笹亜希加（岩滝）
- 8区 田中樹希耶（岩滝）・市田 惠一（明石）

※前者が「対抗の部」、後者が「チャレンジの部」出場

●「人権の花運動」感謝状が贈られました  
人権について考えを深める

2月25日、岩屋小学校の人権の花運動に対し宮津人権擁護委員協議会・京都地方法務局宮津支局・与謝野町から連名で感謝状が贈られました。感謝状の贈呈式の後には人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」をみんなで合唱し、人と人とのつながりの大切さを考えました。

昨秋から岩屋小学校3・4年生児童がみんなで育てていた「スイセン」の球根は、少しずつ花をつけ始めていました。この運動は主に小学生に対する人権啓発の一方策として、全国的に実施されているもので、子どもたちが協力して花を育てることを通して、命の大切さや相手への思いやりなど人権に対する意識を身につけてもらうことを目的としています



優勝後、笑顔で記念撮影の  
与謝野町代表チーム

●第38回京都府民総体ソフトボールと謝野町代表チーム  
チーム一丸となって  
見事優勝を果たしました！

京都府立丹波自然運動公園などを会場に行われた「第38回京都府民総合体育大会男子ソフトボール」（平成27年10月11日～25日）の部で、与謝野町代表チームが見事優勝を果たしました。

2年前にも優勝し今回で3回目。今回の優勝を監督の山崎まさき政樹さんは「投手が3人いて、その3人が活躍してくれたのが一番の要因」と振り返りました。キャプテンの吉田博喜さんは「2回戦であたった京丹後市との試合が一番印象に残っている。この試合は接戦で、逆転勝利を収めることができ、勢いに乗れた」と話してくれました。

今後の目標については、監督、キャプテンとも口を揃えて「連覇」と力強く宣言しました。



岩屋小学校3年・4年生児童で集合写真



### 地域おこし協力隊通信⑦

問 企画財政課 ☎ 43-9015

こんにちは、与謝野町地域おこし協力隊観光振興担当の福西遙です。今回は、これからの観光のあり方と私の活動についてお伝えたいと思います。

はじめに、これからの観光のあり方ですが、皆さんはDMOという言葉を聞いたことがあるでしょうか？DMOとは「Destination Management/Marketing Organization」の略です。これはさまざまな地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となつて行う観光地域づくりの推進主体という意味です。簡単に言うと、各業界が広域連携をすることによって、来訪者に対して必要な情報を提供するということです。

与謝野町は、福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市・京丹後市・伊根町と共に、海の京都観光圏の枠組みに入っています。DMOという観点から見ると、この5市2町の海の京都観光圏は大きな一つの推進主体であると言えるのです。海の京都観光圏に属する各市町の観光協会職員や観光に携わる私達は、自分たちの市町だけではなく、

他の市町に関しても一定の知識が求められるようになってきています。そこで、各市町の観光協会が実施する研修に参加することによって、自分で実際に体験し感じたことやお奨めできるスポットを来訪者にきちんと紹介できる知識を身につける必要があるのです。

次に、私が実際に参加した研修と与謝野町で実施した研修をご紹介します。昨年12月16日に実施された宮津市の研修では、「旧三上家住宅↓山王宮日吉神社↓和貴宮神社↓カトリック宮津教会↓細川ガラシャ銅像↓キセンバ港館・丹後でダンゴ試食」という散策コースを体験しました。ガイドの説明を受けながら徒歩で各施設を巡りました。宮津市は隣町と異なり、どのスポットにも行ったことが無く観光スポットを知る良い機会でした。特に旧三上家住宅は旧尾藤家住宅と同じくらい趣のある建築物で、ちりめん街道に來られた方に旧屋巡りとして紹介できるのでないかと感じました。

1月28日の綾部市の研修では、「あやべ温泉↓健康ちゃん村↓工芸の里↓古民家かふえ轍↓あやべ特産館」のコースを巡りました。移動中のバス車内では、事務局長さ

に歴史や地名の由来などを紹介していただき、綾部市の特色を勉強させていただきました。コースの中では、「古民家かふえ轍」は内装も清潔感があり、マスター手づくりの限定スイーツはおいしく、こだわりのコーヒー・紅茶も絶品でした。京都方面に帰られるお客様に休憩ポイントとして提案できると感じました。

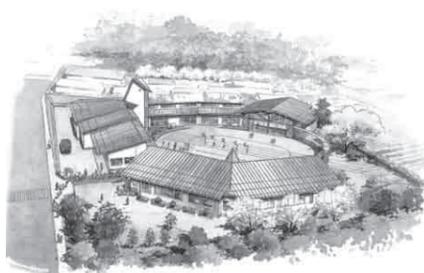
また、与謝野町での研修は昨年11月25日に開催し、「手織り体験↓着付け体験↓ちりめん街道散策」を体験していただきました。体験後の声として、手織り体験は天候も気にせずできることや予約をしながら受け入れ可能な点を評価していただきました。また、着付け体験も自分が持っている色の着物を着られる機会として好評でした。

このように各市町の観光協会が連携し、案内する側の私たちが広域における観光スポットの知識を習得することで、海の京都観光圏に來訪する方々への手厚いおもてなしが実現できるのです。各市町はより良い提案を行うよう切磋琢磨し、その中で、来訪者に与謝野町を選んでいただけるコンテンツ作りをしていくことが私たちの使命であると考えます。



### 認定こども園の名前が「かえでこども園」に決定！

問 子育て応援課 ☎ 43-9024



かえでこども園イメージパース

平成28年4月から岩滝幼稚園と岩滝保育所が統合し、認定こども園が開始します。その名称が、「かえでこども園」に決まりました。

名称決定の過程ですが、昨年の9月に役場内で名称の選考方法を話し合うネーミングワーキンググループ（以下NWG）を立ち上げました。名称を決めるにあたり、ここに通う園児はもとより、多くの町民のみならず、愛され、親しみをもって呼んでいただけるものとなるよう公募することとしました。平成27年11月10日から12月10日

の期間で公募を行ったところ、42点（うち有効36点）の応募がありました。その後NWGで候補を絞り、町長、副町長、教育長、子ども・子育て会議代表、岩滝幼稚園・岩滝保育所の保護者会（PTA）代表、同園長等、関係機関の代表の方（総勢13名）による選考会を開催し、それぞれの意見交換を行った後、最終的に投票により一番投票数の多い「かえでこども園」となりました。

「かえでこども園」に決まった理由は、旧岩滝町の木であり、その葉は子どもたちの小さな手を重ね合わせたように見えるという意見が公募の際にあり、選考会でも同調する意見が多かったこと、また、子どもにも大人にも呼びやすく、覚えやすい名前が良いとの意見が選考会であったことが挙げられます。

#### ■選考会の投票結果

※1人3票以内で投票しました

| ネーミング候補       | 票数 |
|---------------|----|
| かえで（認定）こども園   | 11 |
| あその海こども園      | 9  |
| あそこども園        | 4  |
| はまかぜこども園      | 4  |
| ともだちの輪あそこども園  | 2  |
| 岩滝（認定）こども園    | 1  |
| あじさい（認定）こども園  | 0  |
| あおぞらこども園      | 0  |
| やまびこ（認定）こども園  | 0  |
| おひさまニコニコ園     | 0  |
| なかよし（認定）こども園  | 0  |
| 海光（かいこう）こども園  | 0  |
| ともだちの輪こども園    | 0  |
| つむぎこども園       | 0  |
| （認定）こども園 阿蘇の子 | 0  |



### 保育所の閉所式典のお知らせ

問 子育て応援課 ☎ 43-9024

**岩屋保育所・岩滝保育所 地域に根付いた保育所に幕**

岩屋保育所は、地域に根付いた保育を永きにわたって展開してきましたが、3月末をもって輝かしい歴史と伝統に幕を閉じることとなり、4月からは市場保育所等へ通所していくこととなります。

なお、野田川子育て支援センターは、引き続き岩屋保育所の施設を利用して運営を行います。

岩滝保育所は、保育所としては3月末をもって閉所となりますが、4月からは幼保連携型認定こども園として、新たにスタートすることとなります。

つきましては、岩屋保育所・岩滝保育所の閉所式典の各開催日程が決まりましたので、その概要を下記のとおりお知らせします。

**岩屋保育所閉所式典**

- 日時 3月27日（日）午前9時～
- 場所 岩屋保育所
- 内容 第1部 閉所式典（町主催）  
第2部 おわかれ会（保護者会主催）

**岩滝保育所閉所式典**

- 日時 3月28日（月）午前10時30分～
- 場所 岩滝保育所
- 内容 閉所式典（町主催）

### 1 月入札結果

問 総務課 ☎ 43-9010

| 入札日  | 工事名                  | 場所         | 業者数 | 落札業者名               | 予定価格<br>(千円/税別) | 最低制限価格<br>(千円/税別) | 落札金額<br>(千円/税別) | 落札率<br>(%) | 工事期間     |
|------|----------------------|------------|-----|---------------------|-----------------|-------------------|-----------------|------------|----------|
| 1/28 | 算所地区排水路整備工事          | 算所         | 13者 | (有)ライフクリエイト         | 2,629           | 2,222             | 2,222           | 84.5       | 2/8～3/31 |
| 1/28 | ソブ川支線②水路改良（その4）工事    | 三河内        | 8者  | (有)野口建設             | 9,005           | 7,592             | 7,592           | 84.3       | 2/5～3/31 |
| 1/28 | 下水道関連舗装本復旧③工事        | 温江         | 10者 | (有)石田建設             | 7,213           | 6,083             | 6,083           | 84.3       | 2/3～3/31 |
| 1/28 | 統合簡水加悦上水道舗装復旧（明石）工事  | 明石         | 4者  | 浅巻建設(株)             | 12,382          | 10,479            | 10,479          | 84.6       | 2/3～3/25 |
| 1/28 | 寺田線他区面線設置工事          | 明石<br>地内他  | 4者  | 西田工業(株)             | 1,946           | 1,620             | 1,620           | 83.2       | 2/9～3/31 |
| 1/28 | 町営安良・小井根団地改善工事設計業務委託 | 加悦奥<br>地内他 | 3者  | 一級建築士事務所<br>浪江建築事務所 | 1,190           | -                 | 1,050           | 88.2       | 2/2～3/31 |

**今月の納期**  
3/31 (木) まで

国民健康保険税 第10期  
介護保険料 第10期

**滞納税相談窓口**  
※納期を過ぎた町税の納付相談窓口  
京都地方税機構 丹後地方事務所  
京丹後市役所 大宮庁舎 3階  
☎ 0772-68-1041

**与謝野町役場**  
☎ 43-9000 (代表)

総務課  
☎ 43-9010  
防災安全課  
☎ 43-9011  
商工観光課  
☎ 43-9012  
会計室  
☎ 43-9013  
建設課  
☎ 43-9014  
企画財政課  
☎ 43-9015

**加悦庁舎**  
☎ 43-9001 (代表)

税務課  
☎ 43-9020  
福祉課  
☎ 43-9021  
保健課  
☎ 43-9022  
農林課  
☎ 43-9023  
子育て応援課  
☎ 43-9024  
教育委員会 学校教育課  
☎ 43-9025  
教育委員会 社会教育課  
☎ 43-9026  
議会事務局  
☎ 43-9027  
CATVセンター  
☎ 43-9028

**野田川庁舎**  
☎ 43-9002 (代表)

住民環境課  
☎ 43-9030  
水道課  
☎ 43-9031  
下水道課  
☎ 43-9032

**国民健康保険からのお知らせとお願い**  
☎ 保健課 ☎ 43-9022

就職または退職により社会保険等へ加入または脱退される場合、国民健康保険の脱退または加入の届出が必要ですが、平成28年1月からマイナンバー(個人番号)の利用開始に伴い、届出書や申請書には個人番号の記載、本人確認が必要となりましたので、以下の持参物にあわせ、個人番号の確認できるもの(通知カード等)や本人確認のできるもの(免許書等)を持参いただきますようお願いいたします。

**▽社会保険等を脱退し国民健康保険へ加入するとき**  
「持参物」社会保険等の資格喪失証明書(脱退証明書)、認印  
※退職後も引き続き社会保険等に加入できる場合があります。詳しくは、お勤めの事業所等へ確認してください。

**▽社会保険等へ加入し国民健康保険を脱退するとき**  
「持参物」社会保険等の資格喪失証明書(脱退証明書)、認印  
※現在、修学により転出している与謝野町国民健康保険に加入の方で、就職等により学生で無くなる方は、国民健康保険の喪失手続きが必要です。

**●「持参物」社会保険等の加入証明書(または社会保険証など)、認印、国民健康保険証**  
※届出がないと、保険料が課税されたままとなりますのでご注意ください。

**●修学により与謝野町を転出される方へ**  
国民健康保険は、原則住所地での加入となりますが、修学により他市町村へ転出される方には、親元の国民健康保険に加入することができます。該当する方は、保健課(加悦庁舎)で申請してください。

**「持参物」修学を確認できる書類(学生証、合格通知書等)、お持ちの国民健康保険証、認印**  
※現在、修学により転出している与謝野町国民健康保険に加入の方で、就職等により学生で無くなる方は、国民健康保険の喪失手続きが必要です。

**●医療費の適正化にご協力ください。**  
国民健康保険については、与謝野町に限らず高齢化や医療の高度化等により年々医療費が上昇傾向にあります。与謝野町も医療費の上昇等に対応するため一般会計からの繰入金(一般会計からの資金援助)や基金取り崩し(国保会計貯金の取り崩し)等により国保運営を行っている状態であり、このまま医療費が上昇し続ければ最終的には国保加入者のみなさんへ保険料のアップというかたちで負担をお願いせざるを得ないこととなりますので、国保加入者の皆さんの医療費適正化へのご協力をお願いします。

**▽年に一度の健康診断を受けましょう**  
健康診断を受診することで自身の健康状態を確認しましょう。健診結果については、保健師からあなたの状態に

あったアドバイスを受けられます。万一、健診で異常が見られた時は早期治療により健康維持に努めましょう。

**▽重複受診をやめましょう**  
同じ病気で複数の医療機関を受診することは、控えましょう。医療費を増やしてしまうだけでなく、重複する検査や投薬によりかえって体に悪影響を与えてしまうなどの心配もあります。今受けている治療に不安などがあるときには、そのことを医師に伝えて話し合ってみましょう。

**●口座振替納付・コンビニ収納をご利用ください**  
納め忘れがなく、納付のため金融機関、役場窓口に行く必要がない「口座振替」が便利です。手続きは金融機関窓口で手続きをお願いします。平成26年2月から町税と一部料金の納付書がコンビニ納付対応となりました。

**自転車を取り巻く事故のリスク、問われる責任!**  
☎ 防災安全課 ☎ 43-9011

道路交通法上、自転車は車両の一種(軽車両)であり、法律違反をして事故を起こすと、自転車利用者は刑事上の責任が問われます。また、相手にケガを負わせた場合、民事上の損害賠償責任も発生し、近年、自転車と歩行者の交通事故において、自転車側に過失があるとして高額な賠償を命じる判決が相次いでいます。

自転車には被害者救済のための強制保険(自賠責保険)がありません。事故を起こさないための、日ごろからの安全運転はもちろんですが、事故を起こしてしまった時のための、自転車保険への加入も備えの一つです。

一人ひとりが、自転車を取り巻く事故のリスク、問われる責任についてしっかりと考えましょう。

**『広報よさの』が会長賞に輝きました!**

府内市町村の行政広報の発展向上を図ることを目的に毎年実施されている「平成27年度京都広報賞」(京都府広報協議会主催)の審査結果が発表され、『広報よさの6月号』が「一枚写真の部」で会長賞を受賞しました。



今回、一枚写真の部で会長賞を受賞したのは、6月号(No.112)の表紙。加悦谷祭の子ども歌舞伎の様子を撮影したものです。取材にご協力いただいた皆さん、読者の皆さんに心から感謝します。今後も、皆さんにしまれるよう、与謝野町の今を伝え、頑張る人を応援する広報誌を制作していきます。

**町報かや、町報のだがわの縮刷版をお譲りします**

「町報かや」、「町報のだがわ」の縮刷版が倉庫から見つかりましたので希望される方は3月25日(金)までに企画財政課(☎ 43-9015)へお申し込みください。

- 町報かや 昭和30年1月～昭和50年9月の縮刷版
  - 町報のだがわ 昭和30年6月～昭和59年11月の縮刷版
- ※なお、保存状態が悪いものや、数に限りがありますのでご了承ください。申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

**4月1日から上下水道課になります**

平成28年4月1日から、水道課と下水道課を統合し、上下水道課となります。これに伴い、電話番号も43-9031に統一されますので、おかけ間違いのないようお願いいたします。(現在の下水道課の電話番号43-9032につきましては、転送または音声ガイダンスでご案内します。)なお、配置場所は引き続き野田川庁舎です。

シリーズ⑩  
**男女共同参画**  
**シャツの色**

**お悔やみ**  
(敬称略)

町内に配布している  
広報誌には掲載しています

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、1月16日から2月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

**おめでとう**  
(敬称略)

町内に配布している  
広報誌には掲載しています

**まちのうごき**  
平成28年1月末現在  
人口 22,939人 (-27)  
男 10,904人 (-13)  
女 12,035人 (-14)  
世帯数 9,140戸 (-4)

※括弧内は前月比

## アベリスツイス大学生受け入れ交流事業

～未来へつながる交流～

本町と包括連携協定を締結している英国・ウェールズにあるアベリスツイス大学。連携事業の第2弾として、アベリスツイス大学の学生に本町の文化に触れてもらうことに加えて、専門知識を持った外国の大学生ならではの視点を本町のまちづくりに活かす可能性を探ること、また町民との交流によってお互いに国際理解を深めることを目的に「アベリスツイス大学生受け入れ交流事業」を行いましたので、その様子をお伝えします。

## 初めての大学生受け入れ事業

1月21日から30日までの10日間、アベリスツイス大学から学生8名と随員のPatrick Valentine Nolan先生を本町に受け入れました。学生は同大学にある8学部からそれぞれ1名ずつ選ばれて与謝野町にやって来ました。全員、初めての来日です。

滞在中は、本町の基幹産業である織物業と農業の現場、役場行政機構についての学習やちりめん街道ミニツアー、酒蔵見学や染色センターでのタベストリー作り等、与謝野スタイルを経験したほか、逆に外国人大学生ならではの気付き、感想を私たちに教えてもらうことができました。また、学生は町内のご家庭にホームステイすることによって、日本の生活スタイル・食事等を体験し、また、町内の保育所・小中学校・高等学校での交流によりお互いを知る機会になりました。

## 報告会の様子

1月29日、ホストファミリーや与謝野アベリスツイス友好協会のみなさんが集まるなか、岩滝保健センターで大学生による与謝野町滞在報告会を行いました。ここでは、学生一人ひとりがホストファミリーに対する感謝の気持ちや、この事業を通じて感じたこと、今後の生活に活かしていきたいことを伝えました。

将来、日本で英語を教えたいと思っている学生は、「学校訪問を通して日本の教育現場に触れることができ、参考になった」と話し、また、アベリスツイスと本町の地形や人口構造などの違いを話す学生や、他にも、ちりめん街道のような日本の伝統的な建造物を維持していることの素晴らしさについて話す学生もいました。また、ホストファミリーの学生の中からは、大学生と生活したことで「アベリスツイスに興味を持った」「アベリスツイスに行ってみたと思うようになった」などの感想を聞くことができ、未来へとつながる成果を得ることができました。



## 本事業を通して

本事業は、外国の大学生の視点を本町のまちづくりに活かすことを目的の一つとしていますが、初めての来日、初めての訪町のため、見るもの・触れるもの・出会う人のすべてが新鮮で初めてのものばかり、かつ短期間の滞在であり気候もあまり良くなかったこともあり、彼らは本町を知ることが精一杯の様子。このようななかでも、彼ら自身の精一杯の成果として滞在期間中の体験を報告会でプレゼンテーションされたことは、今回の最も大きな成果と言えます。

また、10日間、寝食を共にされたホストファミリーの皆さまにとって、言葉の違いから伝えたいことがなかなか伝わらないなかでの交流は、ご家族のこれまでにはなかった貴重な経験になったことと思われます。

本町とアベリスツイス大学との連携事業は、来年度も行う予定としています。このようなグローバルな環境に触れることで、一人でも多くの方々にアベリスツイス、海外に興味を持ってもらい、また、多様な価値観を育てていきたいと考えています。

これまで続けてきたアベリスツイスとの高校生相互派遣交流に加え、昨夏実施のアベリスツイス大学サマースクール留学事業、そしてこの大学生受け入れ交流事業が、本町とアベリスツイスとの連携事業として今後も多くの方々にご参加いただき、発展することを目指していきます。



① フランクエバンスさん平和慰霊碑を訪れる ② 市場小学校で英語の授業に参加 ③ 歓迎レセプションでの集合写真 ④ 初めての酒蔵訪問 ⑤ 織物について学ぶ ⑥ 自らデザインしたタベストリー作り ⑦ 着物着付け体験

